



10月号  
(第438号)

武庫川女子大学  
附属中学校・高等学校  
総務部

## 体育大会を終えて思うこと

入学対策部長 網本 勝喜



十月五日(日)に行われた体育大会は、天候不順の折、可能な限りのプログラムで実施されました。中間審査を目前に控え、難しい判断を迫られるなかでの実施でしたから、生徒にとっても教職員にとっても、保護者のみなさまにとっても印象に残る体育大会ではなかったかと思っています。

開会式を迎えるころ、雨が強くなってきました。そんなときに高学年の生徒たちでしょうか、「ぞうきんを貸してください」「バケツとかないですか? テントから雨水が落ちてきて…」と駆け込んできました。生徒席に行ってみると、折りたたみ傘を重ねて雨を避けていたり、ぞうきんでシートをふいたりするなか、体育大会をやりきろうとする前向きな声も聞こえてきました。さまざまな競技や学年演技に取り組むときは、クラスの仲間たちと円陣を組んだり、互いを応援し、たたえあったりする生徒たちの「自ら考え、動く」、加えて前向きな姿勢、力にあためて感動しました。

私は観劇が趣味のひとつですが、ミュージカル「モーツァルト!」のナンバーに「星から降る金」という曲があります。親に「安全な場所」へ閉じ込められた王子が、外の世界の未知なる可能性や「もつと知りたい」という内なる声に導かれて旅立つ物語が描かれた曲です。

父レオポルト・モーツァルトは、息子であるヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトを子どものころと変わらず、自分の意のままにしようとし、「もつとありのままの自分を見てほしい」というヴォルフガングとはわかりあえません。そこに、彼の才能を認め、ウィーンへ出て才能を開花させるように説く男爵夫人が父レオポルトに対して歌うのが、この「星から降る金」です。つまり、歌に出てくる王子は、城を出ることで、親の与えた「安全」から離れ、自分自身の力で人生を切り拓き、真の「金」夢や希望を見つけないくわけです。

校長先生は入学式のあいさつやスクールガイドの中で、みなさんのことを「可能性の塊」であると話されます。「星から降る金」の歌に出てくる王子(ミュージカルで言うとモーツァルト自身)もまた、自主的に考え、動き、さらに力いっぱい躍動し、夢をかなえる「可能性の塊」です。私は、体育大会がイレギュラーな展開で行われたなか、歌の中の王様(ミュージカルで言うとモーツァルトの父親)のように、できるだけ安全運転であることを願っていましたが、どの学年の生徒のみなさんも逆境を前向きな力に変えて乗り越え、盛り上げた姿に、あらためて「可能性の塊」を感じ、王子そのものであることに気づかされました。その逆境を乗り越え切る前向きな力、臨機応変な姿勢で、それぞれの夢や希望を実現してほしいと願っています。

## 『校祖の日』〜常に大地に足を踏みしめ、感謝の念を以て〜



武庫川学院の校祖、公江喜市郎先生は、一九八一年九月六日に逝去されました。一ヶ月後の十月六日に「学院葬」が行われ、武庫川学院ではその日を「校祖の日」と定め、先生の偉業、ご成徳を偲ぶ日としています。

公江喜市郎先生は、明治三十年に、現在の兵庫県丹波市でお生まれになりました。大正七年、兵庫県御影師範学校をご卒業以来、逝去されるまで、六十二年もの長きにわたり、ひたすら教育の道に尽力されました。

昭和六年、兵庫県の教育の責任者として、欧米諸



国の教育事情をご視察。このとき、特にイギリスの私立学校教育に共鳴され、私学創設を決意されました。その後、女子教育の重要性を痛感され、ついに、昭和十四年二月二十五日、武庫川学院および武庫川高等学校を創設されました。二月二十五日を創立記念日としているのはここに由来があります。

昭和二十二年には武庫川学院中学校開校、その後続いて、高校・大学・短大と、毎年のように充実を図られました。先生の人格とその教えに惹かれ、集った生徒・学生の数は、今では二十万人にも及んでいます。本学院は、先生の理想の教育を連綿と受け継ぎながら、百周年に向け新たに人材育成方針「MUKOGAWA COMPASS」を定め、「自ら考え、動く」ことのできる人の育成を目指し、立学の精神を進化させているところです。

ここで、公江先生が残された言葉を二つ紹介します。一つ目は、本校のシンボルである時計塔についてです。

「私は学舎に高い塔を建てた。この意味は理想を高く仰ぎ、しかも常に大地に足を踏みしめ、校門の出入りには、感謝の念を以て一礼して通ることを期待しているのだ。」というものです。

もう一つは、校庭の豊かな緑の木々についてです。「武庫川学院の校庭に植えてある樹木については、私が一本一草にいたるまで、自分の目で確かめて購入している。最初は樹木一本とてない状態であつたので、これではいけない、緑の学園こそ本校のごとき女子の学園には最もふさわしいものであると信じて、私は今日まで機会あるごとに、学園の緑化について努力を傾けてきた。」

皆さん、塔を仰ぎ見て一礼をし、校祖公江喜市郎先生の、塔に込められた思い、即ち、理想や感謝の念というものを思い起こしてください。また、このような緑豊かな学舎で学べる環境は、公江先生がいちじやったからこそです。

公江喜市郎先生のご冥福をお祈りするとともに、これからも成長続けることをお誓い申し上げます。

## 令和七年度 体育大会

十月五日(日)、武庫川女子大学総合スタジアムで体育大会が開催されました。小雨の中、予定より二時間半遅れての開始、かつ短縮版での実施となりました。しかし、競技が始まると同時にスタジアムは歓声と拍手に包まれ、熱気に満ち溢れました。午後には雨も上がり、秋晴れの下で閉会式を迎えまし

た。度重なる変更にも関わらず、生徒たちは団結し、見事に大会を成功させました。

総合順位は以下の通りです。

一位・黄組 二位・赤組 三位・青組 四位・白組

## 「仲間と創り上げた最高の一日」

体育大会実行委員長 渡邊 はな(高三)

今年の体育大会は、雨の影響で一日延期、さらにプログラムも大幅に変更を余儀なくされました。しかし、これまでにない形での開催となったからこそ、私にとって忘れられない一日となりました。

実行委員長として、六学年をまとめるという大役は、正直、不安でいっぱいでした。しかし、準備を進める中で、



何よりも強く感じたのは「仲間の大切さ」です。早朝からのグラウンド整備に協力してくれた高校三年生の実行委員、用具準備を率先してくれた副実行委員、前日準備に協力してくれた運動部の皆さん、そして、応援してくれた友人たち。多くの仲間の支えがあったからこそ、この大会を成功させることができました。当初の予定とは大きく異なるスケジュールでの進行でしたが、変更された動きなどに従って、みんなが臨機応変に対応してくれたおかげで、大きな混乱もなくスムーズに進みました。特に印象的だったのは、応援席の様子です。短縮されたプログラムの中でも、各色の仲間たちが全力で応援し、一体となって円陣を組む姿に、心を打たれました。応援する側も、される側も、みんなが一つになっっている姿こそ、体育大会の魅力だと改めて感じました。大会後の片付けで「お疲れ様!」と声を掛け合う時間も、心に残る素敵な瞬間でした。種目の短縮など、思い通りにいかないこともありましたが、仲間たちの協力のおかげで、無事に大会を終えることができました。

事前の準備、当日の達成感、そして、仲間との絆。体育大会は、たった一日の行事かもしれませんが、私にとっては、思い出に残る最高の一日であり、人生の大きな経験となりました。この体育大会を通して学んだ「仲間と協力することの大切さ」を、これからの学校生活や人生の中でもずっと大切にしていきたいと思っています。

## 躍動と感動をありがとう! 創作ダンスを終えて

創作ダンス実行委員長 三上 真央(高三)

高校一年生からダンス委員として、そして三年生では委員長として、創作ダンスを通して貴重な経験をさせていただきました。三年生の演技を初めて見たときの感動を胸に、私もあんな風に、みんなの心

に残る作品を作りたいと強く願っていました。

しかし、いざ練習が始まると、音楽選びから構成、振付まで、すべてを委員で一から創り上げる難しさに直面しました。思うように伝わらないことも多く、何度も苦戦しましたが、そんな時、ダンス委員だけでなく、クラスのみんなが積極的に協力してくれ、最高の作品へと仕上がりました。学年全体での合同体育では、先生方の熱心なご指導のもと、カノンや移動の正確さを意識して練習を重ねました。それでも、なかなか揃わず、指示が上手く伝わらないこともあり、不安でいっぱいになることもありましたが、最後の合同体育では、全員の気持ちが一つになり、互いに高め合うことができました。本番直前、私の呼びかけに、みんなが力強く「はい！」と返事をしてくれた瞬間、心の底から込み上げてくるものがありました。本番では、最初から最後まで笑顔が絶えない、最高の演技を披露することができ、多くの拍手をいただきました。色々な困難を乗り越え、みんなで力を合わせて頑張ってきたことに良かったと、心から思いました。

体育大会当日は、雨の影響で進行の変更や短縮もありましたが、そんな悪天候を吹き飛ばすような、躍動感あふれる演技をみんなで創り上げることができ、一生涯の思い出に残る舞台となりました。支えてくださった先生方、家族、そして、最後まで私達についてきてくれた三年生のみんな、本当に感謝しています。みんな、ありがとう！

短期交換留学に派遣

○ニュージーランド・ランギオラ校（7/21～8/10）

元浦 愛泉（高二）  
居場 心嘉（高二）



ランギオラ校では、生徒各自に決まった教室がなく、休み時間は自由に床に座るスタイルでとても驚きました。マオリ語の授業が行われる建物では靴を脱ぐ習慣があり、それは日本と同じでマオリの文化だそうです。マオリ語で「こんにちは」「ありがとう」を意味する Kia Ora（キオラ）がどこに行ってもたくさん使われていました。ニュージーランドは南半球にあるため、季節が日本と真逆です。八月は現地では真冬でしたが、半袖を着ているニュージーランダーが多く驚きました。ニュージーランド英語は発音が特に難しく感じましたが新鮮でした。乗り継ぎ空港のシンガポール英語もさらに難しかったので、これから様々な国の人が話す英語に触れてみたいです。来年一月にランギオラ校から来日する友達をホストファミリーとして受け入れる日が、今からとても楽しみです。



○アイルランド セント・ラファエラズ校（8/30～9/13）  
廣野 愛実（高二）  
藤田 桃花（高二）  
阮 靖涵（高二）



留学を通して、何が自分に不足しているかを気づくことができました。言語が違うからこそ、コミュニケーションでつまづくこともありましたが、乗り越えた先の達成感や嬉しさはとても印象に残るものでした。私が英語を教えてもらうだけでなくホストシスターに日本語を教える体験は自分への学びにもなりました。ホストファミリーや現地の友達と休み時間に話したこと、一緒に出かけたことなど一つ一つの時間が全てとても大切な思い出です。本当にかげがえのない充実した約二週間でした。今後も今回の経験を活かし、自分の課題と向き合いながら頑張っていこうと思います。

○フィンランド ガウディアア校（8/15～9/4）  
中原なつみ（高三）  
野口あすか（高三）



私のホストファミリーはとても親切で、三週間色々な場所に連れて行ってくれました。特に、休日に行ったムーミン美術館が絵本の中に迷いこんだみたいで、とても素敵な時間を過ごせました。短い時間だったけど、たくさんさんの思い出ができました。このフィンランドでした経験を糧にして、さらに英語の勉強を頑張りたいです。

小学生対象 中学入試募集要項説明会のご案内

・日時 12月6日（土） 9時30分～10時15分  
・場所 本校

中学生対象 高校入試説明会のご案内

◇第2回高校入試説明会  
・日時 11月9日（日） 10時～11時15分  
・場所 本校

◇高校入試募集要項説明会  
・日時 12月6日（土） 11時15分～12時  
・場所 本校

小・中学生対象 個別相談会のご案内

・11月9日（日） 9時～12時（芦研模試会場）  
場所 本校  
・12月6日（土） 小学生対象 10時～11時30分  
中学生対象 11時30分～13時  
場所 本校  
※詳細は、ホームページをご覧ください。

二〇二五年度第三回保護者等対象講座

グループで箱庭を創ってみませんか？  
～自分の世界と子育ての関係について～

日時 12月1日（月） 13時30分～15時（お話し）  
15時10分～17時（個別相談）  
詳細は後日ミマメルメにて配信します。先着16名  
講師 磯貝 京子（本校専任カウンセラー・臨床心理士）  
職員 京子（本校専任カウンセラー・臨床心理士）

☆様々な分野での活躍☆

○バトントワリング部

・第34回バトントワリング兵庫県大会  
グリーンアリーナ神戸（9/23）

中学校の部 中学校部門  
第1位 中学校チーム 第2位 中学1年生チーム  
高等学校の部 高等学校部門  
第1位 神戸新聞社賞

○コーラス部

・第80回関西合唱コンクール 枚方市立総合文化芸術センター 関西西大大ホール（9/23）

中学生部門 同合唱部の部 金賞受賞  
盟理事長賞（部門最優秀賞）受賞  
高等学校部門 Aグループ 金賞受賞  
盟理事長賞（部門最優秀賞）受賞  
・第92回NHK全国学校音楽コンクール 高等学校の部 NHKホール（10/11） 全国大会出場  
優良賞

○カヌー部

・第79回国民スポーツ大会 滋賀県東近江市伊庭内湖 特設カヌー競技場（10/3～6）

【500m】WK-2 第4位 有本 輝（高3）

【200m】WK-2 第6位 塩谷望恵瑠（高1）  
有本 輝（高3）  
塩谷望恵瑠（高1）

○マーチングバンド部

・第32回マーチングバンド兵庫県大会  
ヴィクトリーナウイング体育館（8/26）

高校コンテスト部門 優秀賞  
・第53回兵庫県マーチングコンテスト  
グリーンアリーナ神戸（9/7）  
高校以上B部門 優秀賞

○体操部

・第79回国民スポーツ大会  
滋賀ダイハツアリーナ（9/9～15）

第7位 野中こもも（高3）兵庫県代表チームのメンバー  
個人の部

○スピードスケート

・2025アジアンオープンショートトラックトロフィー  
インド デハラードゥーン（8/20～23）

ジュニア女子C 500m優勝 古屋（中2）  
ジュニア女子C 777m優勝 古屋（中2）  
ジュニア女子C 1000m優勝 古屋（中2）  
ジュニア女子C Mix relay 優勝 古屋（中2）

○ピアノ

・第43回兵庫県高等学校独唱独奏コンクール  
姫路キャスパホール（8/21）

声楽部門 銅賞 石崎菜乃香（高3）  
最優秀賞 佐々木花香（高2）  
優秀賞 岩永 瑠花（高1）  
優秀賞 森本 瑞希（中1）

○体育大会 プログラム表紙デザイン

| 行事予定 |                                                                      |
|------|----------------------------------------------------------------------|
| 日 曜  | 行事予定                                                                 |
| 1 土  | A 高3休業日（11/2日分） 高2以下45分×4時間授業                                        |
| 2 日  | 公募制推薦（前期）                                                            |
| 3 月  | B 文化の日                                                               |
| 4 火  | ブラウナライスイーク（～7日）                                                      |
| 5 水  |                                                                      |
| 6 木  | B週月曜授業実施                                                             |
| 7 金  | 芸術鑑賞会（午後 江江記念講堂）                                                     |
| 8 土  | 休日 異年齢交流会（午前）                                                        |
| 9 日  | 芦研模試会場 英検2次（校外）                                                      |
| 10 月 | A 高2以下個別懇談会（全学年45分授業～14日） 公開授業（保護者 午後～14日）<br>週 R8年度中高グローバル研修説明会 ※会食 |
| 11 火 |                                                                      |
| 12 水 |                                                                      |
| 13 木 |                                                                      |
| 14 金 |                                                                      |
| 15 土 | 甲子園浜ビーチクリーン作戦（中1） オラトリカルコンテスト（午後AV1）                                 |
| 16 日 |                                                                      |
| 17 月 | B 全校朝礼・表彰（8:35）                                                      |
| 18 火 |                                                                      |
| 19 水 |                                                                      |
| 20 木 |                                                                      |
| 21 金 |                                                                      |
| 22 土 | 休日                                                                   |
| 23 日 | 勤労感謝の日                                                               |
| 24 月 | A 振替休日 公募制推薦（後期）                                                     |
| 25 火 | 高3期末考査                                                               |
| 26 水 | 高3期末考査                                                               |
| 27 木 | 高3期末考査                                                               |
| 28 金 | 高3期末考査                                                               |
| 29 土 | 高3期末考査                                                               |
| 30 日 |                                                                      |